

PDF/Xデータ作成の注意事項

データ作成にあたり、透明効果の使用（ほかし、ドロップシャドウなど）により、PDF-Xにした際、周辺の写真が分割による線が発生するトラブルが発生しております。

それを回避するため、以下の点にご協力下さい。



イラストレーターにて、EPS保存する事により、このような処理が内部的に行なわれています。EPSは使わず、PSD、AI形式を推奨します。（お客様の環境により異なります。）

お客様の環境により、ご選択して下さい。

Adobe Creative Suite3～4の場合

PDF/X-4入稿

イラストレーターに配置する画像は、Psdファイルにして下さい。

イラストレーターファイルは、Aiにして下さい。
（フォントは安全のため、アウトラインして下さい。）

画像の埋込みは不要です。

それらの素材をInDesignに配置してデータ作成し、PDF/X-4で書き出して下さい。

分割が一切行われず、分割線、グラデーションの化け、文字太りなどのトラブルが軽減します。
（注：EPSを使っていないのが条件です。）

Adobe Creative Suite1～4の場合

PDF/X-1入稿

イラストレーターに配置する画像は、PSD、JPG、TIFF、PDFファイル推奨。

イラストレーターファイルは、PDFにして下さい。
（フォントは安全のため、アウトラインして下さい。）

重要：EPS画像は全て埋め込んで下さい。
（透明分割トラブル回避のため）

それらの素材をInDesignに配置してデータ作成し、PDF/X-1aで書き出して下さい。

トラブル回避のため、ご協力をお願い致します。